



令和6年度 自閉症教育実践研究協議会

研究主題（4年計画の2年次）

「知的障害を伴う自閉症児が確かに育つ教育課程の改善」

幼稚部副題：幼児一人一人の好み・よさと障害特性を考慮した実態把握に基づく授業づくり

小学部副題：単元構想シートを活用した指導目標の設定と評価の改善

開催趣旨

昨年度より、「知的障害を伴う自閉症児が確かに育つ教育課程の改善」をテーマに、これまでの研究の成果と課題を振り返り、改めて、幼児児童期の知的障害を伴う自閉症児に育てたい力や経験させたいことを整理しながら、教育課程の改善に向けて4年計画で取り組んでいます。

今年度はその2年次に当たり、昨年度の成果と課題をふまえ、幼稚部は、幼児一人一人の好み・よさと障害特性の視点から実態を捉え、ねらいや指導方法を導き出すプロセスを整理、可視化した授業作り、小学部は「単元構想シート」を活用し、各教科等を合わせた指導における目標設定の見直しと評価の改善に着目した授業づくりに取り組み、各学部の代表児の変容から、知的障害を伴う自閉症児に対する授業づくりのポイントと学習内容を提案します。本校の実践について参会の皆様と意見交換させていただき、有意義な協議会となれば幸いです。

多くの皆様の御参加をお待ちしております。



参加申込み

- 1 開催日時 令和6年12月7日（土）9時00分～16時30分 オンライン開催
- 2 申込期間 令和6年9月6日（金）～ 令和6年11月25日（月）17:00
- 3 参加定員 300名（先着順）
- 4 申込み手順
 - ①本校ホームページに掲載している参加申込のGoogleフォーム、もしくは、右記のQRコードよりアクセスしてください。
 - ②必要事項を御記入ください。
 - ③Eメールで参加受付をお知らせしますので、受付票をお受け取りください。

参加費
無料



問い合わせ先

筑波大学附属久里浜特別支援学校自閉症教育実践研究協議会を推進する会 総務係（工藤）

〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5丁目1番2号

TEL：046-848-3444

FAX：046-848-3740

e-mail：jik-uketsuke@kurihama.tsukuba.ac.jp

URL：https://www.kurihama.tsukuba.ac.jp

日程

8:45	9:00	9:35	12:15	13:00	14:30	15:20	15:30	16:20	16:30
ZOOM 開室	開会式 学校概要 研究概要	● 小学部 ・低学年 ・高学年 実践発表 指導助言	昼食・休憩	● 幼稚部 実践発表 指導助言	全体講演 I	休憩	全体講演 II	閉会式	

実践発表

幼稚部

幼稚部では、幼児一人一人の姿を出発点とした授業づくりに取り組んでいます。複数の教師の視点から実態を整理し、ねらい・手立てを導き出す方法や、授業づくりのプロセスを可視化した「のびのびシート」の活用について提案します。さらに、これらの授業づくりを通じた幼児の変容や、知的障害を伴う自閉症幼児に対する授業づくりのポイントを発表します。



小学部 低学年／高学年

小学部では、今年度改めて「生活単元学習」について、学年ごとに「育てたい力」を明確にした上で、取り扱う各教科の目標・内容を基に単元を検討し、年間指導計画を作成しました。その上で、昨年度作成した「単元構成シート」を改善・活用し、生活単元学習における指導内容の精選と目標設定、教師間での評価の共通認識について実践を行っています。低学年は、昔話を題材にした劇遊び、高学年はゲーム的要素を取り入れた活動の中でルールや数などについて学ぶ単元を通して、児童の変容から、授業づくりの目標、評価について発表します。



指導助言者・講師紹介

■ 幼稚部 指導助言者

千葉大学教育学部学校特別支援教育コース

准教授 **真鍋 健 先生**



■ 全体講演 I 講師

筑波大学人間系

教授 **野呂 文行 先生**



前半は、「自閉症児への対応～研究の動向と教育に期待すること～」について御講演いただきます。
後半は、研究部との対談を行います。

■ 小学部低学年 指導助言者

国立特別支援教育総合研究所

主任研究員 **柘植 美文 先生**



■ 全体講演 II 講師

文部科学省 特別支援教育調査官

加藤 宏昭 先生



■ 小学部高学年 指導助言者

国立特別支援教育総合研究所

上席総括研究員 **丹野 哲也 先生**



「知的障害教育の現状と課題～知的障害を伴う自閉症児に対する教育の在り方について～」について御講演いただきます。